

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		体育施設改修事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育課	課長名	高木 敏明				
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	坂井 竹志				
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1507				
予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	事業連番	11506	法令根拠	成果優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 21 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		コスト削減優先度評価結果					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・改修要望箇所の確認や参考見積の徴取、緊急度などに応じた「体育施設年次改修計画」の策定を行い、計画に応じた改修を実施する。 ・体育施設は中央運動公園G・総合運動公園・黒石公園G・みずぎ台G・みずぎ台テニスコート・泉ヶ丘テニスコート・栄G・合生G・上生G・泉ヶ丘体育館・栄体育館・妙泉寺体育館・西合志体育館・総合体育館・武道館・弁天山キャンプ場・合志小跡G、福原グラウンドである。 ・平成22年2月補正予算において、「体育施設維持管理業務」中の改修に係る委託料・工事請負費を本事業に計上し、事業を開始した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・改修箇所確認、参考見積徴取、「体育施設年次改修計画」策定 ・設計書作成、入札依頼書提出、施行監理、竣工検査、支払事務 ・設計書作成、見積書徴取、契約事務、施行監理、竣工検査、支払事務
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	・夜間照明設備の不具合による苦情 ・総合運動公園テニスコートの近くにトイレ設置 ・野球場バッティングゲージ溶接破損箇所修繕 ・野球場スコアボード時計修繕 ・野球場内野部分の整地工事 など
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
総合運動公園下水道接続測量設計業務委託、みずぎ台グラウンド雨水排水路改修工事	栄グラウンド雨水排水設備測量設計業務委託、栄グラウンド雨水排水設備設置工事、総合運動公園公共下水道接続工事、総合運動公園合併処理浄化槽清掃工事、総合運動公園野球場塗装工事、みずぎ台テニスコートラインテープ改修工事、グラウンド照明施設コインタイマー設置工事
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 委託・工事発注件数	件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
上記【事業の内容】に記載されている施設	⇒ア 改修要望件数 件
	⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
常に気持ちよく安全に利用できる状態を保つ。	⇒ア 改修済件数 件
	⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
・改修要望の中から緊急度などを考慮し策定した「体育施設年次改修計画」に記載された改修が実施された割合を成果指標とした。 ・予算確定により目標値を設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 件				2	2	7	4	1
	イ								
⑤ 対象指標	ア 件				29	29	29	29	29
	イ								
⑥ 成果指標	ア 件				10	10	15	19	20
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円				15,990		
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円			1,000		5,210	10,000
	(A) 事業費計	千円	0	0	1,000	0	21,200	10,000	8,600
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人			3	3	3	3
延べ業務時間		時間			90	105	170	170	170
(B)人件費計		千円	0	0	358	418	677	677	677
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	1,358	418	21,877	10,677	9,277

総トータルコスト	全体計画
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	体育施設改修事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

特になし
------

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 目的再設定    <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携    <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>(有効性改善)・・・年次計画により改修を実施しているが、国の経済対策などで改修が前倒しで実施されれば成果は向上する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年次計画どおりの改修が毎年度実施できれば成果は向上するが、市財政や国の動向により成果が上下する可能性がある。</li> <li>・年次計画策定においては、単独事業費による実施を前提に無理のない計画を策定する。</li> </ul>																						